

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-199627

(43)Date of publication of application : 08.08.1990

(51)Int. Cl.

G11B 5/84

G11B 5/82

(21)Application number : 01-019961

(71)Applicant : NEC IBARAKI LTD

(22)Date of filing : 30.01.1989

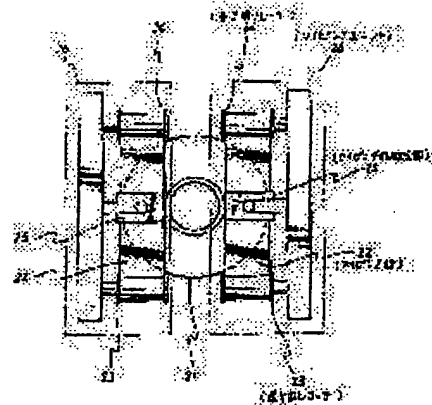
(72)Inventor : OYA YOSHIHIKO

(54) WIPING DEVICE FOR MAGNETIC DISK

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain smooth wiping in a short time by equipping to wiping units and making it selectable for simultaneous or alternate use of the two wiping units.

CONSTITUTION: The device is provided with a wiping member 22 of a thin and long belt wiping out a lubricant on a magnetic disk face 21, a feed roller 23 feeding the wiping member 22, a winding roller 24 winding the wiping member 22 and a wiping member pressing part 25 pressing the wiping member 22 onto the magnetic disk face 21 and they are equipped as a wiping unit 26. Then the 2 wiping units 26 are equipped and the simultaneous use or alternate use of the 2 wiping units 26 is made selectable. Thus, the wiping is quickened to obtain uniform lubricant film thickness.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平2-199627

⑬ Int. Cl.⁹

G 11 B 5/84
5/82

識別記号

B

庁内整理番号

6911-5D
7350-5D

⑭ 公開 平成2年(1990)8月8日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 磁気ディスク用ワイピング装置

⑯ 特 願 平1-19961

⑰ 出 願 平1(1989)1月30日

⑱ 発 明 者 大 矢 善 彦 茨城県真壁郡関城町関館字大茶367-2 茨城日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 茨城日本電気株式会社 茨城県真壁郡関城町関館字大茶367-2

⑳ 代 理 人 弁理士 高 橋 勇

明 細 書

微とする磁気ディスク用ワイピング装置。

1. 発明の名称

磁気ディスク用ワイピング装置

2. 特許請求の範囲

(1)、磁気ディスク面上の潤滑剤を拭き上げるための細長ベルト状のワイピング材と、このワイピング材を巻装してワイピング材を送り出す送り出しローラと、前記ワイピング材を外部からの駆動力によって巻き取る巻取りローラと、前記送り出しローラと巻取りローラとの間に配設されて前記ワイピング材を磁気ディスク面に押圧するワイピング材加圧部とを有し、

前記ワイピング材と、送り出しローラと、巻取りローラと、ワイピング材加圧部とをワイピングユニットとして装備するとともに、前記磁気ディスクの表裏両面に前記ワイピングユニットを配設した磁気ディスク用ワイピング装置において、

前記ワイピングユニットを二箇所に装備するとともに、この二箇所のワイピングユニットの同時使用若しくは交互使用を選択可能にしたことを特

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は磁気ディスク用ワイピング装置に係り、特に、磁気ディスク製造過程において、磁気ディスク媒体表面に塗布した潤滑材を一様に拭き上げる為の磁気ディスク用ワイピング装置に関するものである。

〔従来の技術〕

第2図に従来例を示す。

第2図に示す従来例においては、磁気ディスク面21上の潤滑剤を拭き上げるための細長ベルト状のワイピング材22と、このワイピング材22を巻装してワイピング材22を送り出す送り出しローラ23と、ワイピング材22を外部からの駆動力(図示せず)によって巻き取る巻取りローラ24と、送り出しローラ23と巻取りローラ24との間に配設されてワイピング材22を磁気ディ

スク面 21 に押圧するワイピング材加圧部 25 とを有し、ワイピング材 22 と、送り出しローラ 23 と、巻取りローラ 24 と、ワイピング材加圧部 25 とをワイピングユニット 26 として装備するとともに、磁気ディスク 21 の表裏両面にワイピングユニット 26 を装備している。

次に、動作説明をする。

従来、磁気ディスク 21 媒体面上に塗布した潤滑材を均一に拭き伸ばす場合、ワイピングユニット 26 に装備されたワイピング材 22 を、ワイピング材加圧部 25 によって潤滑材を塗布した磁気ディスク 21 媒体面に押しつけ、潤滑材が均一になるように繰り返し拭き伸ばすワイピング作業を行っていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、上記従来例においては、何度も繰り返しワイピング作業を行なわなければならないので、ワイピング作業に要する時間が長くなり、また、ワイピング後の潤滑膜厚がばらつくという

不都合が生じていた。

〔発明の目的〕

本発明の目的は、このような従来例に見られる不都合を改善し、ワイピング作業を迅速に行なう、一様な潤滑膜厚を得ることができるような磁気ディスク用ワイピング装置を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明では、磁気ディスク面上の潤滑剤を拭き拡げるための細長ベルト状のワイピング材と、このワイピング材を巻装してワイピング材を送り出す送り出しローラと、ワイピング材を外部からの駆動力によって巻き取る巻取りローラと、送り出しローラと巻取りローラとの間に配設されてワイピング材を磁気ディスク面に押圧するワイピング材加圧部とを有し、ワイピング材と、送り出しローラと、巻取りローラと、ワイピング材加圧部とをワイピングユニットとして装備するとともに、

磁気ディスクの表裏両面にワイピングユニットを配設している。そして、ワイピングユニットを二箇所 に 装 備 する と 同 じ に、この二箇所のワイピングユニットの同時使用および交互使用を選択可能にするという構成を採っている。これによって、前述した目的を達成しようとするものである。

〔発明の実施例〕

以下、本発明の一実施例を第 1 図に基づいて説明する。なお、前述した従来例と同一の構成部材については、同一の符号を用いることとする。

この第 1 図に示す実施例においては、磁気ディスク面 21 上の潤滑剤を拭き拡げるための細長ベルト状のワイピング材 22 と、このワイピング材 22 を巻装してワイピング材 22 を送り出す送り出しローラ 23 と、ワイピング材 22 を外部からの駆動力（図示せず）によって巻き取る巻取りローラ 24 と、送り出しローラ 23 と巻取りローラ 24 との間に配設されてワイピング材 22 を磁気ディスク面 21 に押圧するワイピング材加圧部 2

5 とを有し、ワイピング材 22 と、送り出しローラ 23 と、巻取りローラ 24 と、ワイピング材加圧部 25 とをワイピングユニット 26 として装備するとともに、磁気ディスク 21 の表裏両面にワイピングユニット 26 を配設している。

そして、ワイピングユニット 26 を二箇所 に 装 備 する と 同 じ に、この二箇所のワイピングユニット 26 の同時使用および交互使用を選択可能にしている。その他の構成は前述した従来例と同一となっている。

次に上記実施例の動作説明をする。

回転している磁気ディスク 21 媒体の表裏両面にあるワイピング材 22 は、ワイピング材加圧部 25 によって磁気ディスクをはさんで押しつけられている。ワイピング材 22 は、磁気ディスク 21 媒体の表裏両面に塗布されている潤滑剤を拭き拡げる。ワイピング材 22 が余分の潤滑剤を吸収して飽和すると、ワイピング材加圧部 25 は加圧するのを止めて、ワイピング材 22 は磁気ディスク 21 表面から離れる。ワイピング材 22 が磁気

ディスク21表面から離れると、外部から駆動力を付勢された巻取りローラ24が回転して、飽和したワイピング材22を巻取り、同時に送り出しローラ23から新しいワイピング材22が供給される。ワイピング材22が新しいものと交換されると、再びワイピング材加圧部25がワイピング材22を磁気ディスク21に押しつけ、上述したのと全く同様の手順を繰り返して、ワイピング作業を行う。

以上述べた手順のワイピング作業は、二箇所にて配設されたワイピングユニット26によって同時に、若しくは交互に行われる。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によると、ワイピングユニットを二箇所にて装備するとともに、この二箇所のワイピングユニットの同時使用および交互使用を選択可能にしているため、ワイピング作業に要する時間が節約され、短時間でより滑らかなワイピングが行われるという従来にない優れた

磁気ディスク用ワイピング装置を供給することができる。

4. 図面の簡単な説明

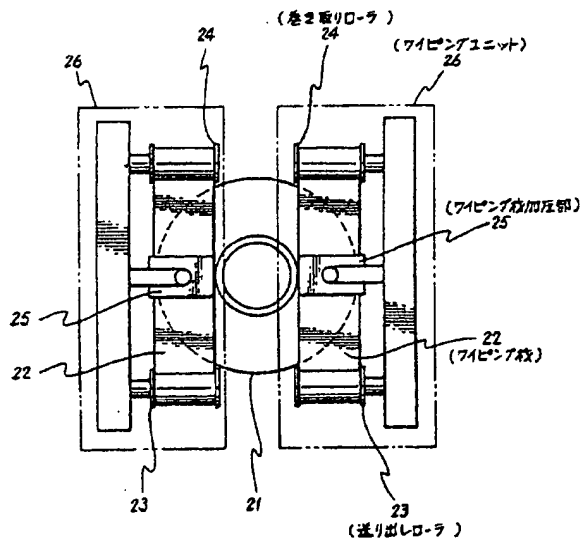
第1図は本発明の一実施例を表す正面図、第2図は従来例を表す正面図である。

22……ワイピング材、23……送り出しローラ、24……巻取りローラ、25……ワイピング材加圧部、26……ワイピングユニット。

特許出願人 茨城日本電気株式会社

代理人 弁理士 高橋 勇

第1図



第2図

